

# 尾張旭市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の

## 特例を定める条例の制定について

### 討論要旨 山下幹雄議員

私は賛成の立場から討論いたします。

通告はしておりませんでした。反対討論を聞いていたその中、また議案質疑をさせていただきながら感じた事より、この提案を絶対廃案にさせてはいけないという思いから討論をさせていただきます。

この議案は確かにいろいろな考え方があると思いますが、市長はパフォーマンスでなく熟慮して決断した大変なことであったと感じます。行政幹部副市長、教育長と相談をしながら熟慮したと思います。私は4月時に市長報酬減額要望も出させていただきましたが、そのことにつきまして、市長はその時から新型コロナウイルス感染症に対する準備を整えてきているわけです。補正がこれからかかってくる。そのために準備が整ったという議案質疑の答弁があります。

「自分の心を補正予算にのせたい。」という市長の心を買うべきではないでしょうか。各種対策において額面的には充分これで果たせるとは思いませんが、まずこの市のリーダーが、この市の人たちがやる意欲を見せる。やっていることを市民に見せる。一つ一つの積み上げで、先ほど花井議員が賛成討論で話をさせていただきました。やることは100あります。100の手立ての一つ一つを積み上げることがしなければ市民の理解は得られません。財政はこれからより一層厳しくなってきます。

税収も減ってくる中で市長は、市政の舵取りをしなくてはならないのです。これから荒波に出ていくのです。そうした心意気を買わなくて議員はどうするのでしょう。